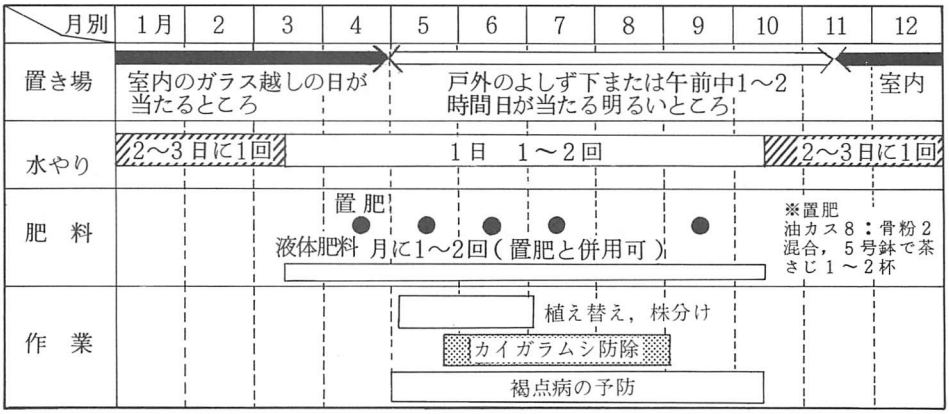
カンノンチクの育て方

カンノンチクは，屋久島から台湾，中国南部に自生するヤシ科の雌雄異株の植物で，育てやすさと，美しい葉姿から広く家庭で親しまれています。冬は室内で管理します。

育てやすい主な品種

青葉系　丸葉：大黒天，小判，東和殿　　斑入り系　丸葉：寿，小判錦
　　長葉：七宝殿，　　中葉：瑞晃錦
　　大葉：愛国殿，太平殿

年間管理



植え替え・株分け

適　期　5月中旬～6月

用　土　日向土，真砂土，川砂など水はけのよいものを単用し，大粒（6～10㎜），中粒（4～6㎜），小粒（1～4㎜）の3種類に分けて使用します。

鉢　駄温鉢または観音竹鉢など。

株分け　小さい芽を親株から分けるとその後の生育が悪いので，少なくとも葉が7～10枚以上になったものを分けます。

カンノンチクの植え方

病害虫など

○葉先が茶色に枯れる→水のやりすぎまたは乾かしすぎによる根先の傷み⇨水やりを加減する。新しい用土で植え替える。

○葉に茶色の斑紋がでる→褐点病の被害⇨5～10月にダイセン，ダイセンステンレスを月2回散布。

○葉に黄色の小点が目立つ→カイガラムシの被害⇨6～8月にスプラサイド，スミチオンを散布。

栽培のポイント

1. 2～3年に1度植え替える。
2. 強い光に当てない（葉焼けする）。
3. 強い風に当てない（葉に傷がつく）。
4. 用土を乾かしすぎない。
5. 冬は室内に取り入れる。

広島市植物公園